

# 令和5年度「学校評価」集計結果について

宮城県石巻北高等学校飯野川校

## 1. 実施期間

令和5年12月6日（水）～令和5年12月22日（金）

## 2. 実施方法

保護者および生徒を対象として、学校の取組に関する14の質問項目について、「よくできている」「だいたいできている」「あまりできていない」「できていない」の四段階評価で調査した。

媒体は保護者へは紙を、生徒へはGoogleフォームを利用した。

## 3. 回答数及び回答率

	保護者	生徒
回答数	31人	46人
回答率	60%	87%

## 4. 調査結果と分析

質問項目ごとの肯定的評価（「よくできている」「だいたいできている」）および否定的評価（「あまりできていない」「できていない」）の回答数、今年度および昨年度の肯定的評価の割合、並びにその増減についてのまとめと分析を以下に掲載する。

## 令和5年度学校評価アンケート結果

### 保護者

回答率 60%

31名回答

番号	質問内容	よくできて いる	だいたい できている	あまりでき ていない	できてい ない	肯定的 評価 割合 (R5)	肯定的 評価 割合 (R4)	割合の 増減
		肯定的評価 (人数)		否定的評価 (人数)				
1	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている	8	21	2	0	94%	—	—
2	お子様の学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている	10	19	2	0	94%	97%	-3%
3	生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている	9	20	2	0	94%	94%	0%
4	お子様の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている	13	16	2	0	94%	84%	10%
5	生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています	11	19	1	0	97%	88%	9%
6	学校として、部活動は活発に行われている	5	18	7	1	74%	59%	15%
7	学校として、生徒会活動は活発に行われている	9	19	3	0	90%	87%	3%
8	お子様にとって、有意義な学校行事がある	8	16	7	0	77%	77%	0%
9	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる	7	16	7	1	74%	72%	2%
10	保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	8	14	8	1	71%	66%	5%
11	保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている	8	17	5	1	81%	81%	0%
12	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている	6	22	1	2	90%	81%	9%
13	学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている	8	15	7	1	74%	74%	0%
14	お子様の学校生活は充実している	12	17	2	0	94%	87%	7%

#### 【分析】

どの質問項目も肯定的評価の割合が高く、総じて前年度よりも高評価となっている。

特に質問4、5、6、12において前年度の評価を大きく上回っている。これはコロナ禍以前の活動に戻ってきたことが要因として考えられる。一方、質問6、8、9、10、13については、高評価ではあるものの否定的評価の割合が他の項目と比較して高くなっており、これらについては現状を分析し、不備な点を明らかにして改善に取り組む必要がある。

また、評価そのものではないが、回答率を上げるための工夫も必要と考える。

## 令和5年度学校評価アンケート結果

生徒

回答率 87%

46 名回答

番号	質問内容	よくできて いる	だいたい できている	あまり できていない	できて いない	肯定的評 価 割合 (R4)	肯定的評 価 割合 (R3)	割合の 増減
		肯定的評価 (人数)		否定的評価 (人数)				
1	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている	11	30	4	1	89%	—	—
2	生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている	14	30	2	0	96%	92%	4%
3	生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている	19	22	2	3	89%	88%	1%
4	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている	20	23	3	0	93%	94%	-1%
5	生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています	22	22	1	1	96%	92%	4%
6	学校として、部活動は活発に行われている	14	23	6	3	80%	71%	9%
7	学校として、生徒会活動は活発に行われている	14	27	5	0	89%	94%	-5%
8	自分にとって、有意義な学校行事がある	10	28	4	2	86%	73%	13%
9	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる	9	25	10	2	74%	71%	3%
10	生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	21	24	1	0	98%	90%	8%
11	保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている	13	29	3	1	91%	94%	-3%
12	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている	12	26	6	2	83%	69%	14%
13	学校として、日頃から、いじめの実態把握や早期発見に取り組んでいる	14	25	6	1	85%	78%	7%
14	自分にとって、学校生活は充実している	17	23	2	4	87%	82%	5%

### 【分析】

保護者の評価と同様にどの質問項目も肯定的評価の割合が高く、前年度よりも高評価となっている。特に質問 6、8、10、12 において前年度の評価を大きく上回っている。要因としては保護者評価分析でも述べたようにコロナ禍以前の活動に戻ってきたことがその一つと考えられる。

一方、質問 6、8、9、12、13 については、高評価ではあるものの否定的評価の割合が他の項目と比較して高くなっていることを認識し、改善への取り組みを検討する必要がある。